



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 日本バルカー工業株式会社

コード番号 7995 URL <http://www.valqua.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤 利一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部SR室長 (氏名) 小田 博志

TEL 03-5434-7370

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	18,428	29.3	1,725	—	1,642	—	994	—
22年3月期第2四半期	14,251	△37.8	52	△97.8	86	△96.2	△121	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	11.14	—
22年3月期第2四半期	△1.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	37,839	23,531	59.7	255.57
22年3月期	35,865	23,084	62.5	250.37

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 22,578百万円 22年3月期 22,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2.50	—	4.00	6.50
23年3月期	—	4.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	17.9	2,800	161.9	2,600	140.5	1,650	197.8	18.49

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、(添付資料)3ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社 (社名)、 除外 一社 (社名)
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 有

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	93,443,668株	22年3月期	93,443,668株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	5,097,769株	22年3月期	3,961,859株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	89,236,657株	22年3月期2Q	89,495,315株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 海外売上高	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とする海外経済の改善や政府の景気刺激策による内需の拡大などに支えられて、緩やかに回復いたしました。また、収益や業況感の改善を背景に企業の設備稼働率や設備投資意欲も持ち直し傾向を示しました。しかしながら、海外経済の成長率は先進諸国の経済回復の遅れや新興国における金融緩和の修正の動きなどから鈍化しつつあること、為替円高の進行、エコカー補助金終了に伴う自動車販売台数の減少などの懸念材料もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境下でありまして当社グループは、新たな製品事業体制の下で市場の回復を上回る成長基盤の確立を目指して、第5次中期経営計画“NV・S5 (New Valqua Stage Five)”に掲げた諸戦略を着実に実行してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期の連結経営成績につきましては、売上高が184億2千8百万円（前年同期比29.3%増）となりました。利益につきましては、売上高の増加と生産性向上の影響などにより、営業利益が17億2千5百万円（前年同期は5千2百万円）、経常利益が16億4千2百万円（前年同期は8千6百万円）、四半期純利益が9億9千4百万円（前年同期は1億2千1百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① シール製品事業

シール製品事業につきましては、主要な販売先である重化学工業向けの需要増と自動車、半導体、建設機械などの産業をけん引役とする生産回復などにより、売上高が142億9千1百万円（前年同期比25.8%増）、営業利益が16億9千9百万円となりました。

② 機能樹脂製品事業

機能樹脂製品事業につきましては、半導体・液晶関連産業における製造装置部品、電気・電子産業の需要増などにより、売上高が37億6千9百万円（前年同期比54.7%増）、営業利益が7千9百万円となりました。

③ メンブレン製品事業

今後の成長が期待されるメンブレン製品事業につきましては、顧客側での生産調整や為替変動の影響などにより、売上高が3億6千7百万円（前年同期比19.9%減）、営業損失が5千3百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売上高の回復による受取手形及び売掛金の増加と、連結子会社の増加による現金及び預金並びにたな卸資産等の増加により、前連結会計年度末に比べ19億7千3百万円増の378億3千9百万円となりました。有利子負債は、前連結会計年度末に比べ2億7千8百万円増の59億8千9百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ4億4千6百万円増の235億3千1百万円となりましたが、自己資本比率は前連結会計年度末の62.5%から59.7%に減少いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期に向けての事業環境は、新興国向け需要をけん引役としてきた生産回復基調が鈍化する見通しであることや、為替円高の進行、景気刺激策効果の希薄化などの影響で改善の動きが弱まることが見込まれます。このような状況下、当社グループでは、“NV・S5”の諸戦略を着実に実行することにより、掲げた数値目標の達成に力を注いでまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益がそれぞれ2百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が74百万円減少しております。

(企業結合に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、持分法適用関連会社であった飯田パッキン工業株式会社の決算日は5月15日でありましたが、連結子会社となったことに伴い、決算日を3月15日に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間は平成22年3月16日から平成22年9月15日までの6ヶ月間を連結しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,426	4,563
受取手形及び売掛金	11,127	10,295
商品及び製品	1,125	931
仕掛品	179	91
原材料及び貯蔵品	670	292
その他	1,672	1,747
貸倒引当金	△19	△8
流動資産合計	20,182	17,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,075	5,123
土地	3,746	3,740
その他（純額）	3,475	3,411
有形固定資産合計	12,297	12,275
無形固定資産		
のれん	3	3
その他	550	525
無形固定資産合計	553	529
投資その他の資産		
その他	4,850	5,186
貸倒引当金	△47	△48
投資その他の資産合計	4,803	5,138
固定資産合計	17,653	17,942
繰延資産	2	9
資産合計	37,839	35,865

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,246	4,857
短期借入金	3,272	3,239
1年内返済予定の長期借入金	214	139
1年内償還予定の社債	2,040	2,000
未払法人税等	484	159
引当金	460	380
その他	1,081	855
流動負債合計	12,800	11,633
固定負債		
社債	90	—
長期借入金	372	330
退職給付引当金	360	336
負ののれん	48	53
その他	636	427
固定負債合計	1,507	1,147
負債合計	14,307	12,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,957	13,957
資本剰余金	4,199	4,199
利益剰余金	6,146	5,507
自己株式	△1,373	△1,136
株主資本合計	22,930	22,527
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	77	262
為替換算調整勘定	△429	△386
評価・換算差額等合計	△351	△123
新株予約権	500	493
少数株主持分	452	187
純資産合計	23,531	23,084
負債純資産合計	37,839	35,865

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	14,251	18,428
売上原価	9,198	11,513
売上総利益	5,053	6,914
販売費及び一般管理費	5,001	5,189
営業利益	52	1,725
営業外収益		
受取利息	2	12
受取配当金	16	21
設備賃貸料	105	70
持分法による投資利益	21	13
助成金収入	91	4
その他	48	79
営業外収益合計	285	201
営業外費用		
支払利息	67	75
設備賃貸費用	93	81
その他	90	127
営業外費用合計	251	284
経常利益	86	1,642
特別利益		
固定資産売却益	3	0
役員賞与引当金戻入額	27	—
子会社清算益	17	—
負ののれん発生益	—	189
その他	0	2
特別利益合計	48	192
特別損失		
固定資産廃棄損	4	21
特別退職金	44	6
投資有価証券評価損	—	49
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	72
段階取得に係る差損	—	36
その他	7	21
特別損失合計	55	206
税金等調整前四半期純利益	79	1,628
法人税、住民税及び事業税	122	565
法人税等調整額	60	17
法人税等合計	183	582
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,045
少数株主利益	17	51
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△121	994

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	79	1,628
減価償却費	660	649
受取利息及び受取配当金	△18	△34
支払利息	67	75
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△37	23
前払年金費用の増減額 (△は増加)	194	109
固定資産廃棄損	4	21
売上債権の増減額 (△は増加)	△863	△585
たな卸資産の増減額 (△は増加)	219	△65
仕入債務の増減額 (△は減少)	79	194
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	72
その他	383	△135
小計	768	1,952
利息及び配当金の受取額	20	34
利息の支払額	△64	△75
法人税等の還付額	427	134
法人税等の支払額	△185	△234
営業活動によるキャッシュ・フロー	967	1,810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	240
有形固定資産の取得による支出	△467	△360
有形固定資産の売却による収入	30	0
無形固定資産の取得による支出	△24	△82
差入保証金の差入による支出	△90	△91
差入保証金の回収による収入	17	10
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	279
その他	△63	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△596	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	412	537
短期借入金の返済による支出	△465	△622
長期借入れによる収入	2	91
長期借入金の返済による支出	△69	△368
社債の発行による収入	—	100
社債の償還による支出	—	△36
自己株式の取得による支出	—	△213
配当金の支払額	△222	△355
少数株主への配当金の支払額	△19	△35
その他	△6	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△368	△912
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	△22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	38	863
現金及び現金同等物の期首残高	4,135	4,558
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,174	5,421

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計に占める「各種工業用部品・部材製品の製造・販売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	12,823	1,221	207	14,251	—	14,251
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	677	1,100	3	1,781	(1,781)	—
計	13,500	2,321	211	16,033	(1,781)	14,251
営業利益(又は営業損失)	(13)	32	8	28	24	52

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。
2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。
(1) アジア …………… 中国・台湾・タイ・韓国・ベトナム
(2) 北米 …………… アメリカ合衆国

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,503	466	19	1,988
II 連結売上高(百万円)				14,251
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.5	3.3	0.1	14.0

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。
2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。
(1) アジア …………… 中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム
(2) 北米 …………… アメリカ合衆国
(3) その他の地域 …… ヨーロッパ
3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「シール製品事業」、「機能樹脂製品事業」及び「メンブレン製品事業」の3つを報告セグメントとしております。

「シール製品事業」はプラント機器関連製品、エラストマー製品、自動車部品及びその他シール製品を製造・販売しております。「機能樹脂製品事業」はふっ素樹脂製品を中心とする機能樹脂製品を、「メンブレン製品事業」は機能膜とフィルター分野を中心とするメンブレン製品をそれぞれ製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	シール 製品事業	機能樹脂 製品事業	メンブレン 製品事業			
売上高						
外部顧客への売上高	14,291	3,769	367	18,428	-	18,428
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	14,291	3,769	367	18,428	-	18,428
セグメント利益又は損失(△)	1,699	79	△53	1,725	-	1,725

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報」の構成単位に分類したセグメントの名称に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間についても組替えて表示しております。

① 生産実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	増減率(%)
シール製品事業	2,311	4,832	109.1
機能樹脂製品事業	309	687	122.2
メンブレン製品事業	275	338	22.9
合 計	2,896	5,858	102.3

(注) 1 上記の金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 仕入実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	増減率(%)
シール製品事業	5,050	5,535	9.6
機能樹脂製品事業	1,343	2,420	80.2
合 計	6,393	7,956	24.4

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 メンブレン製品事業では、仕入実績はありません。

③ 受注状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	増減率(%)	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	増減率(%)
シール製品事業	11,579	14,881	28.5	2,280	2,779	21.9
機能樹脂製品事業	2,617	4,066	55.3	531	755	42.3
メンブレン製品事業	497	375	△24.5	99	66	△33.2
合 計	14,694	19,323	31.5	2,910	3,601	23.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	増減率(%)
シール製品事業	11,356	14,291	25.8
機能樹脂製品事業	2,436	3,769	54.7
メンブレン製品事業	459	367	△19.9
合 計	14,251	18,428	29.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,016	488	36	2,541
II 連結売上高(百万円)				18,428
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.9	2.7	0.2	13.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。

(1)アジア ・ ・ ・ ・ ・ 中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム

(2)北米 ・ ・ ・ ・ ・ アメリカ合衆国

(3)その他の地域 ・ ・ ヨーロッパ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。